

○ 食品廃棄物等の発生量（平成25年度推計）

食用仕向量
【8,339万トン】
粗食料+加工用

食品リサイクル法における食品廃棄物等

減量（脱水・乾燥等）
【220万トン】

有価物
（大豆ミール、ふすま等）
【901万トン】

事業系廃棄物
【806万トン】

家庭系廃棄物
【870万トン】

事業系廃棄物
+有価物
【1,927万トン】

うち可食部分と
考えられる量
（330万トン）
（規格外品、返品、
売れ残り、食べ残し）

うち可食部分と
考えられる量
（302万トン）
（食べ残し、過剰除去、
直接廃棄）

- ① 食品関連事業者
- ・食品製造業
 - ・食品卸売業
 - ・食品小売業
 - ・外食産業

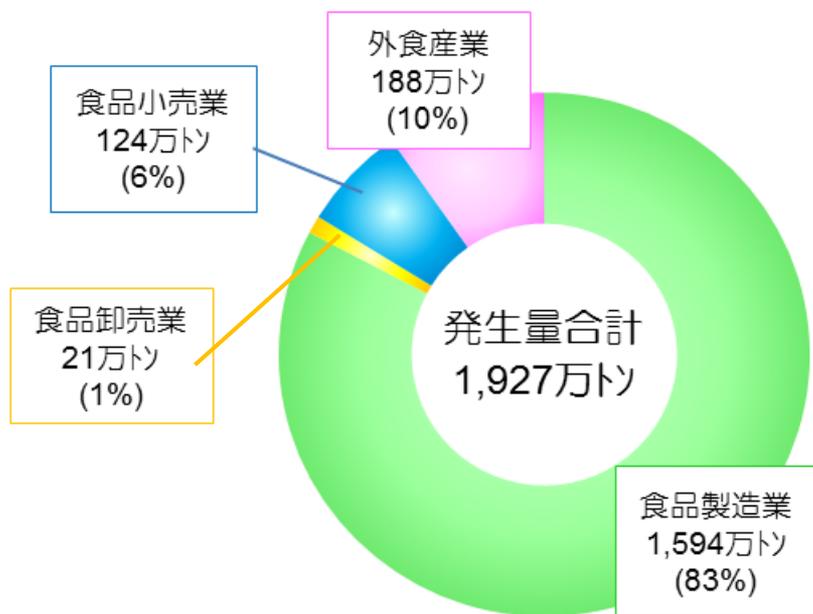
② 一般家庭

廃棄物処理法における食品廃棄物

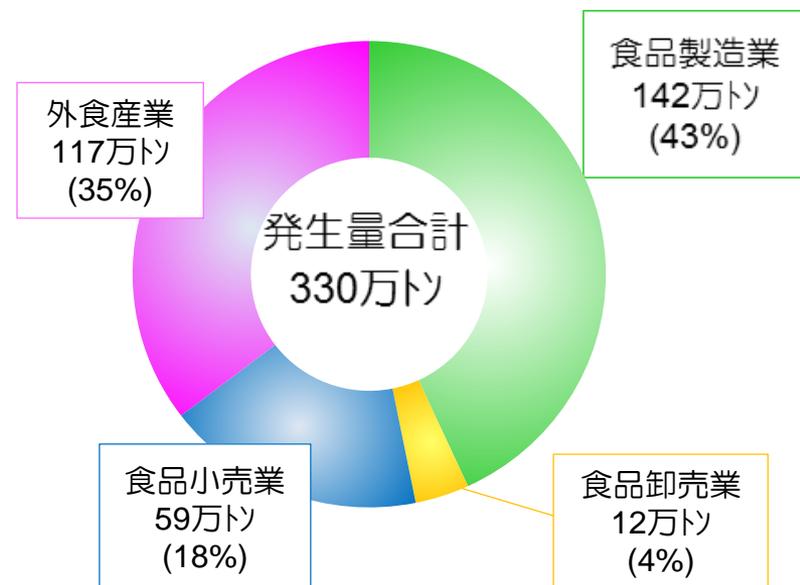
○ 事業系食品廃棄物等の発生量（平成25年度）

- ✓ 食品廃棄物等の発生量は、平成25年度で1,927万トンとなっており、このうち食品製造業が83%を占めている。
- ✓ 可食部の食品廃棄物等の発生量は330万トンとなっており、このうち食品製造業が43%、外食産業が35%を占めている。

①食品廃棄物全体



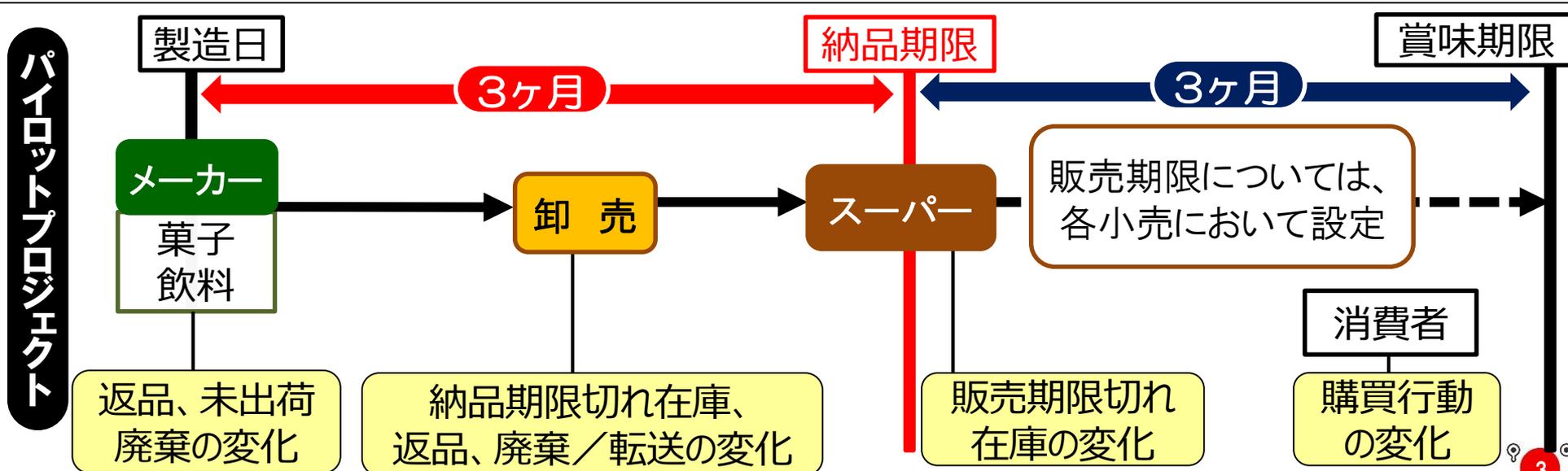
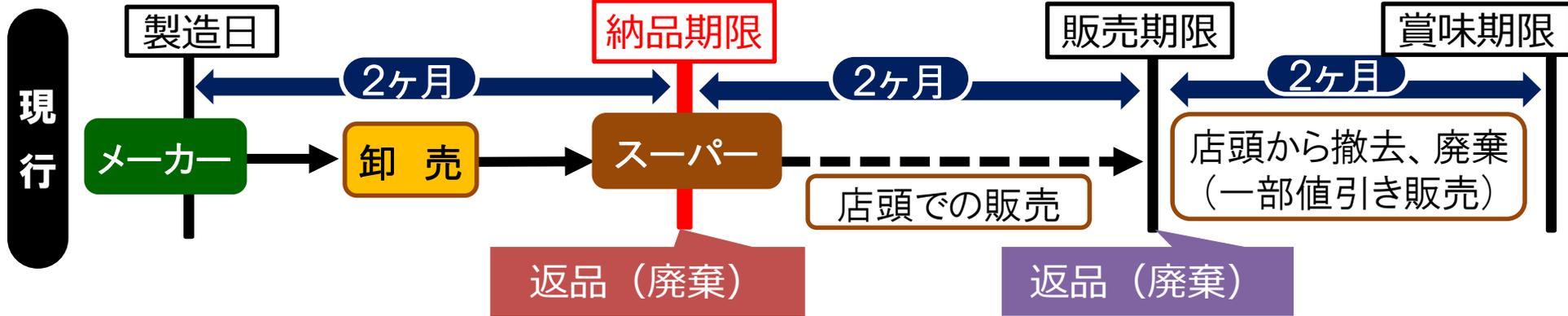
②食品廃棄物(可食部のみ)



○ 食品業界の取組① 納品期限の見直し（その1）

- ✓ 平成25年8月から半年程度、特定の地域で飲料・菓子の一部品目の店舗への納品期限を現行より緩和（賞味期限の1/3→1/2以上）＜パイロットプロジェクト＞
- ✓ それに伴う返品や食品ロス削減量を効果測定。

（賞味期限 6ヶ月の場合）



納品期限見直しパイロットプロジェクト（35社）の結果

【食品製造業】
鮮度対応生産の削減
など未出荷廃棄削減

【物流センター】
納品期限切れ発生数
量の減少、返品削減

【小売店頭】
飲料と賞味期間180日以上
の菓子は店頭廃棄増等の
問題はほぼなし

【該当食品全体への推計結果】
飲料：約 4万トン（約71億円）
菓子：約 0.1万トン（約16億円） ※賞味期間180日以上
の菓子で実施
合計：約 4万トン（約87億円） ※事業系食品ロス
の1.0%～1.4%

飲料・菓子の納品期限緩和を推奨

納品期限を見直した企業

【26年度】イトーヨーカ堂、東急ストア、ユニー、
セブン-イレブン・ジャパン、サークルKサンクス

【27年度】イオンリテール、ファミリーマート、ローソン、
デイリーヤマザキ、スリーエフ

【28年度】ポプラ（4月開始）、ミニストップ（28年度実施予定）

実運用問題なし
地域の食品スーパー
への拡大が課題

○ 食品業界の取組② 賞味期限の延長

- ✓ 製造過程における食品の品質保持技術の発展によって、賞味期限の見直しが可能。
- ✓ 科学的な知見で再検証を進め、消費者理解を得つつ賞味期限延長に取り組むことを商慣習検討ワーキングチームで推奨（平成24年度～）。

- 平成21年1月～25年10月
958品目延長
- 平成25年11月～26年10月
199品目延長
- 平成26年11月～27年10月
163品目延長
- 今後587品目予定

【事例：日本即席食品工業会】

- ・これまでの製造技術や包装技術の進歩から、賞味期限の延長が可能と結論を得、平成25年6月に「即席めんの期限表示設定のためのガイドライン」を改訂。
- ・平成26年春より、賞味期限を1～2ヶ月延長したカップめんや袋めんが登場。



袋麺 6ヶ月
カップ麺 5ヶ月



袋麺 8ヶ月
カップ麺 6ヶ月

従来

現在

○ 食品業界の取組③ 賞味期限の年月表示化

- ✓ 賞味期限が3ヶ月を超える食品については年月表示も可能。
- ✓ 消費者に分かりやすい期限表示となるよう各社で工夫し、日付順に納入される流通段階での食ロス発生を防ぐよう商慣習検討ワーキングチームで推奨(平成24年度～)

- 2009年1月～2013年10月
50品目切り替え
- 2013年11月～2014年10月
159品目切り替え
- 2014年11月～2015年10月
115品目切り替え
- 今後107品目予定

【事例1：日本醤油協会】

過度に厳しい日付管理が深夜・早朝操業や返品等の原因となっていたことから、「醤油の日付表示に関するガイドライン」を作成する際、賞味期限が3か月超のものは、原則として年月表示。

【事例2：飲料大手5社】

平成25年5月製造分より、国産水2Lペットボトルで年月表示に切り替え。平成26年6月製造分より、キリン、サントリーの缶コーヒー、茶などで順次切り替え。

<現状>



<移行後>



○ NPO等と連携した取組～フードバンク活動

- ✓ 食品企業や農家などから、包装の印字ミス等により販売が困難になった加工食品や規格外の農産物などの寄付を受けて、福祉施設等に無償で提供する取組。
- ✓ もともと米国で始まり、既に四十年の歴史があるが、我が国では、ようやく広がり始めたところ。
- ✓ 日本では北海道から沖縄まで、2013年現在で約40団体が活動。
- ✓ 東京のNPO法人セカンドハーベスト・ジャパンが最大の規模。

フードバンクによる
食品の取扱量

2011年：5114トン



2012年：6443トン



2013年：4525トン

今年度の農林水産省の取組

1. 補助事業

フードバンク活動の推進・強化に向けた検討会・研修会等の開催や倉庫、食品の入出庫管理機器の賃貸料等を支援

2. 「フードバンク活動による食品の取扱い等に関する手引き」作成中 **Coming soon!**

3. フードバンク活動実態調査（現在は60団体を超える見込み） **平成29年3月公表予定**

4. 活用推進情報交換会（全国8カ所） **平成28年11月～平成29年2月**

「ろすのん」だのん！
みんなで取り組む食品ロス削減
運動のシンボルマークだのん！



食べものに、
もったいないを、
もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT

- 名前：ろすのん（性別 男）
 - ・食品ロスをなくす(non)という意味から命名
 - ・280件の応募の中から決定（平成25年12月）
- ろすのんのロゴセ：
語尾に「のん」がつく
- 好きな食べ物：
刺身のつま、パセリ
- 夢：食品ロスがなくなること
- 好きな言葉：残り物には福がある

★「ろすのん」の使い方！



NO-FOODLOSS PROJECT

とっても簡単♪
お手紙を一通送ってくれたら使えるのん♪

食べ物の「もったいない」をもう一度考えてみるのん！

事業者の皆さんは**様式1**、自治体の皆さんは**様式3**を以下担当までご郵送下さい。

様式はこちら：http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/other/shinseisyo_to_yoshiki.doc



食品ロス削減に取り組む団体・企業の皆さん、是非ご利用いただき、一緒に国民運動を盛り上げていきましょう。（無料です！）

〒100-8950 東京都千代田区霞ヶ関一丁目2番1号
農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課
食品産業環境対策室 食品リサイクル班

TEL 03(3502)8111 直通 03(6744)2066 FAX 03(6738)6552

★告知 1 ～参加者募集中～

○食品ロス削減研修会～食品産業の商慣習改善に向けて

- ✓ 商慣習の見直しを実施した食品関連事業者の事例紹介
- ✓ 食品ロス削減実態調査結果の発表

東京	平成28年11月25日(金)13:30～17:00	福岡	平成29年1月20日(金) 13:30～17:00
名古屋	平成28年12月9日(金) 13:30～17:00	大阪	平成29年2月1日(水) 13:30～17:00

URL: http://www.dei.or.jp/research/workshop_161125.html
(公益財団法人流通経済研究所HP)



○フードバンクフードバンク活用推進情報交換会

- ✓ フードバンク活動における食品の取扱い等に関する手引き
- ✓ 各地域のフードバンクの活動紹介とマッチング

東京	平成28年11月22日(火) 13:30～16:00	広島	平成29年1月13日(金) 13:30～16:00
札幌	平成28年11月30日(水) 13:30～16:00	福岡	平成29年1月19日(木) 13:30～16:00
金沢	平成28年12月8日(木) 13:30～16:00	大阪	平成29年2月2日(木) 10:00～12:30
名古屋	平成28年12月9日(金) 9:30～12:00	仙台	平成29年2月15日(水) 13:30～16:00

URL: http://www.dei.or.jp/research/meeting_161122.html
(公益財団法人流通経済研究所HP)



○食品産業における未利用熱の有効活用セミナー（地球温暖化・省エネ対策）

- ✓ 食品産業におけるコージェネレーション及びヒートポンプ導入に関して、中小規模事業者でも取り組める事例や対策等をわかりやすく解説

金沢 平成28年10月21日(金)13:30～17:00

仙台 平成28年11月2日(水) 13:30～17:00

名古屋 平成28年11月9日(水) 13:30～17:00

東京 平成28年11月14日(月) 13:30～17:00

URL: <http://www.jora.jp/28miriyounetsu/index.html>

(一般社団法人日本有機資源協会HP)



○第4回食品産業もったいない大賞

- ✓ 「食品を通じて持続可能な循環型社会へ」をコンセプトに、省エネ・CO₂削減、食品ロス削減、食品の有効活用等の観点から、顕著な実績を挙げている事業者や団体を表彰
- ✓ 今年度募集〆切 **平成28年11月8日**
- ✓ 昨年度は地方自治体として松本市が初受賞

URL: <http://www.jora.jp/mottainai4/>

(一般社団法人日本有機資源協会HP)



自薦・他薦OK!

【募集対象】

農畜水産業者、食品製造業者、食品卸業者、食品小売業者、外食事業社、食品輸出入業者、フードバンク、ボランティア活動、再生利用事業者、関連企業、**地方自治体**



みんなで、できることから、
食品ロス削減に
取り組んでほしいのん！！

